

ドリュー・バリモア

アンジェリカ・ヒューストン

欲望

拒絶

逃避



エバー・アフター

EVER AFTER
A CINDERELLA STORY

主演: ミレイユ・ソリア, アンディ・テイト, ドリュー・バリモア, アンジェリカ・ヒューストン, コビー・アスター, タグライ・スコット, ジョアン・モロー
監督: ジョージ・アーンストン
脚本: ジェニー・ヒール
音楽: ケン・ライティ, テイモシー・M・ホーン
編集: ロジャー・ボントリ
衣装: マイケル・パウエルズ
プロデューサー: アン・リョー, ダン・グロ
配役: ミレイユ・ソリア, トーニー・トリンチ
サントララム: ポリグラム
www.foxmovies.com
エス・ガン・グラント, アンディ・テイト, リック・バーガス, アンディ・テイト
© 1998 TWENTIETH CENTURY FOX
20th Century Fox



◆「タイタニック」の次は「エバー・アフター」

「タイタニック」で涙したあなたに、また1本、20世紀フォックスからロマンティックな恋の物語が届けられた。時代はもう少しさかのぼって、16世紀ころのフランス。お転婆だけれどチャーミングで才気あふれるダニエルは、ふとしたことからフランスの王子ヘンリーと出会う。たちまち彼女の虜になった王子は、政略結婚を目論む王に逆らって彼女を妃に迎え入れようとするが……。実はダニエルは、父が死んで以来陰険な継母たちにこき使われているメイドだったのだ!!



◆フレッシュでロマンティックなキャラクター

ダニエルは王子様が救ってくれるのを待つ受け身の女の子ではない。勇気をもって継母たちに立ち向かい、読書好きで、正義感と進んだ社会観をもった女性。知性と独立心で王子の生き方を変え、時にはアツと驚く機知をもって愛する彼の窮地を救いさえる。これはまさに現代のシンデレラ・ムービー。ダニエルの颯爽とした個性が、今を生きる女性たちにロマンティックな夢とエネルギーな人生観を与えてくれる。



◆ぴったりすぎるほどのキャストイング

“新しいシンデレラ”ダニエルに扮するのは「E.T.」から17年、最近では「世界中がアイ・ラブ・ユー」などで可愛らしさの中に大人の女の雰囲気飄々としたドリュウ・バリモア。明るい風貌とプライベートなライフ・スタイルからも、古いシンデレラ像をうち破るキャラクターにぴったりだ。ダニエルをいたぶる継母ロドミラには、これまで恐い表情がぴったりのアンジェリカ・ヒューストン。「女と男の名誉」でオスカーを手にした演技派の彼女は、ちょっぴりコミカルに味付けされたこの「悪役」を楽しげに演じている。



エバー・アフター
EVER AFTER
A CINDERELLA STORY

- スタッフ ●
- 監督.....アンディ・テナント
- 撮影.....アンドリュウ・ダン, B. S. C.
- プロダクション・デザイナー.....マイケル・ハウエルズ
- 編集.....ロジャー・ボンデリ, A. C. E.
- 音楽.....ジョージ・フェントン
- キャスト ●
- ダニエル.....ドリュウ・バリモア
- ロドミラ.....アンジェリカ・ヒューストン
- ヘンリー王子.....ダグレイ・スコット
- レオナルド.....パトリック・ゴッドフリー
- マルガリート.....ミーガン・トゥズ
- 老貴婦人.....ジャンヌ・モロー

◆現代的なシンデレラ・ストーリー

「エバー・アフター」の物語のもとになっているのは、かの「シンデレラ」。しかしこの映画は、子供のころ親しんだあのおとぎ話とはちょっと違う。意地悪な継母やガラスの靴や王子様は出てくるけれど、カボチャの馬車や魔法を操る妖精とは無縁。「プリティ・ウーマン」が現代のアメリカを舞台にしたシンデレラ物語だったとしたら、この映画は舞台を16世紀のフランスに移し替えた“プリティ・ウーマン”ダニエルの物語なのだ。



◆一流スタッフが勢揃い

監督は「愛さずにはいられない」のアンディ・テナント。フランスの美しい田園風景や華麗な仮面舞踏会などが際立つ撮影は、「ボディガード」「クルーシブル」のアンジュ・ダン。ピーター・グリーンナウェイ作品や「エマ」を手がけたマイケル・ハウエルズのプロダクション・デザイン、「眺めのいい部屋」でアカデミー賞を受賞した衣装デザイナー、ジェニー・ビーバンによる衣装が、時代色豊かで壮麗な映像に大きく寄与している。

ゴールデン・ウィーク
4月24日(土) G・Wロードショー

★特別鑑賞券発売中! (一般¥1600/ペア券¥3000)

有楽町・東宝映画街

日比谷みゆき座

03(3591)5357

TOHO Theatre Link <http://toho-group.co.jp/>

それは、幸せへ続く愛の証し。

25年目のキス

ドリュウ・バリモア
デイビッド・アークエット モリー・シャノン

6月上旬日比谷みゆき座他全国東宝洋画系ロードショー



フォックス2000ピクチャーズ提供
脚本 アビー・コーン
マルク・シルバーステイン
製作総指揮 ドリュウ・バリモア
音楽 ディビット・ニューマン
監督 ラジャ・ゴズネル

neverbeen kissed